

今月の「トピックス」

1. 今年1年を振り返って！
2. 成年後見人制度！
3. 借りるより買う方が得？
4. 立ち枯れた稲穂！
5. 連帯保証人の役割！

6. 訳あり格別安い部屋！

7. 立ち退き理由…呆然！
8. 現代社会の縮図がここに！
9. 解約理由は不動産購入！
10. おかやま的ココロ
11. ほほえみ日記

お世話になりました！

今年、ボクは生まれ変わりました。皆さんに可愛がって頂けるように勉強していろいろなアドバイスをさせて頂きます。明るい日本の将来にむけて頑張っって前に進みましょう！



たかし

1. 今年1年を振り返って

2010年も残りの日を数えて、今年度の締めくくりをする業務に追われる毎日となりました。今年は皆様にとってどのような年だったのでしょうか？

暑い夏が過ぎて、まだそう月日が経っていないのに間もなくクリスマスとお正月がやってきます。年を重ねる毎に時間がスピードを上げて過ぎていきます。一日々を大切に過ごしていきたいですね。

今年の世界的な大ニュースはなんといっても「チリ落盤事故、閉じこめられた作業員33人全員を救出」でした。助けられたのは奇跡だと思いましたが、地球の資源を掘り返して私たちの生活が成り立っていること、危険な仕事でも家族の為にしなければいけない事情、安全より経費節減に追われる企業など、人ごとではないと感じました。

また、2010年6月21日…管内閣発足、2009年9月16日、民主、社民、国民新の3党連立で発足した政権ですが、総理が2度も交代しました。管総理に期待した事も多かったのですが、日々の言動や行動にガッカリする気持ちが増すばかりです。

2010年夏（6～8月）の日本の平均気温は、統計を開始した1898年以降で最も高くなりました。何しろ体温より高い日が長く続き、高温が原因で亡くなる人が多かったのは驚きました。元気な人たちでさえ体力を消耗したり、身体に堪えたので健康に不安を感じたのではないのでしょうか。

涼しくなってきたとしても、以前ほど身体に無理が利かなくなった気がするのは私だけでしょうか？健康にはくれぐれも注意しましょう。

考えてみると社会的にはあまり良いことがなかったように思います。景気も良いわけはありませんし、景気が回復するという希望も段々と薄れてきています。

かといって、私は悪いことばかりを考えて後ろ向きに行動するのは嫌いな性分ですのでこんな世の中でも元気に明るく仕事に私生活に頑張っています。

2010年にアプローチが取り組んだ事は店頭に設置した「窓タッチシステム」です。



ガラスをタッチして不動産を探索
できる「窓タッチ」を利用する人
が増えています。朝6時から
深夜1時まで、通勤途中やお買
物ついでに不動産探しが出来ま
す。駅にいられた時はタッチ！

不動産業務は賃貸物件の仲介・管理・更新など、売買物件の仲介、リフォーム工事を中心に仕事がたくさん入ってきますので、手を休めることなく頑張っています。この忙しさも皆様からのご相談やご紹介を受けて出来る

西区不動産専門店・賃貸・売買・リフォーム・保険・法律相談・サイクルセンター



岡山佳代子

株式会社アプローチ (旧衛) マンションセンターさいたま

TEL048-621-1300/FAX048-621-1301

お客様ご相談窓口 0120-241-060

〒331-0074

さいたま市西区宝来1717-5

<http://yamatokun.info/> mail info@yamatokun.com

■定休日 毎火曜

■営業時間 10～19



岡山 貴紀

指扇駅ロータリー内



個人的に頑張ったと思うことは「ゴルフを開始して2年で100を切れた事」です。ソフトボール経験がある私ですがゴルフは本当に難しいです。あんな小さなゴルフボールを遠くのグリーン上のカップに3～5打で入れるゲームですから。

年を取っても楽しめるスポーツとしてゴルフを選びました。そしてアプローチという社名もゴルフ用語です。コミュニケーションを良くするという意味で仕事もゴルフも通じているところがあります。どちらも目標と信念を持って、努力して邁進します。

若い世代が暮らしやすいように私のような経験者がアドバイスすると、お客様のご両親も安心されます。世の中が暗い方向に進むと余計に不動産に関する事で困られる方が増えます。私はたくさんの知識を修得して経験を積んできました。皆様のお役に立てるように頑張ります。

2. 成年後見人制度！

中古マンションの売却相談を受けて、売却について打ち合わせをしていました。そこで少し確認をする事がありましたので、司法書士に相談をしました。売り主様はご相談を頂いた方のお父様です。軽い認知症だとの事です。司法書士には決済時の本人確認について聞いたのでした。すると、息子さんに後見人になって頂いてからの売却手続きが良いと言われました。

成年後見制度は精神上的障害（知的障害、精神障害、痴呆など）により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度です。

たとえば、一人暮らしの老人が悪質な訪問販売員に騙されて高額な商品を買わされてしまうなどといったことを最近よく耳にしますが、こういった場合も成年後見制度を上手に利用することによって被害を防ぐことができる場合があります。

また、成年後見制度は精神上的障害により判断能力が十分でない方の保護を図りつつ自己決定権の尊重、残存能力の活用、ノーマライゼーション（障害のある人も家庭や地域で通常の生活をする事ができるような社会を作るという理念）の理念をその趣旨としています。

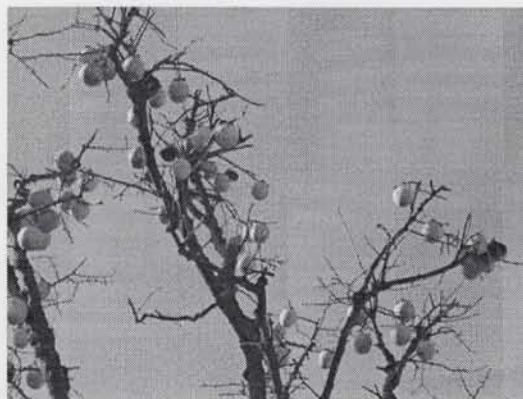
よって、仮に成年後見人が選任されてもスーパーでお肉やお魚を買ったり、お店で洋服や靴

を買ったりするような日常生活に必要な範囲の行為は本人が自由にすることができます。

もし不動産業者として売り主様が認知症であった事を知っていて取引すると大きな問題が発生します。司法書士の登記に関しても、売り主確認について厳しい規定が設けられています。売り主様と直接逢って確認し、署名捺印を頂かないとなりません。例えば売り主様が海外におられても、必ず日本に来て司法書士と面談する事になります。

成年後見制度の手続きをきちんと行うには、今回のケースではお医者さんの診断書を準備してから裁判所に出かけて手続きをします。もし手続きを踏まず息子さんが代理で契約を行い、お父さんが同席して決済したとしても、万一問題が発覚した時は取引自体が無効になります。

賃貸でも家主様の高齢化が進んでいます。私たち専門家はお客様にご迷惑が掛からないように、慎重に調査して手続きを進めて行きます。



今年は柿が豊作で、たくさん食べられる機会がありました。

3. 借りるより買う方が得？

「賃貸物件を探す予定だったけれど、マンションを買った方が安い」と、社員用の社宅を探しておられた会社さんが購入のご相談に来られました。特別価格の安いマンションもあります。6万円の家賃を支払うのであれば7～8年で支払が終わる位の分譲マンションもあります。

何件かご案内して気に入られたマンションがありましたので、すぐに購入をされる事が決まりました。マンション自体が古くても大規模修繕が施されていたり、室内のリフォームを行っていれば何の問題もありません。マンションの管理もしっかりしています。

不動産の価値については考え方は様々です。築浅の不動産は少し価格が高めですが、設備が新しいので長くそのまま使えます。古めの不動産は、生活するのには何の不便もありませんし

支払う金銭が安いので、それだけで生活費の負担が軽くなります。

ずっと家賃を支払い続けるのは大変です。働いているうちにはいいのですが、定年退職をしたりリストラにあったりすると、生活が厳しくなります。将来のことを考えるとマイホームを持つことを早めに考えた方が良いでしょう。

賃貸派の方もおられます。将来はどこに住むか解らない方は、不動産の購入は控えた方が良いでしょう。いつでも気楽に住み替えが出来る賃貸はメリットがあります。

それぞれの生活スタイルに合わせて、住み替えを考えて行きましょう。アプローチがお手伝い致します。

4. 立ち枯れた稲穂！

車でお客様をご案内していたある日のことです。何気なく景色を見て驚いてもう一度振り返ってみました。11月も過ぎ去ろうとしているのに、刈り取っているはずの米の稲穂が黄色を通り越して、茶色に変色し始めているのです。立派に実った稲穂ですが、すでにひからびて来ている状況です。

- ・農家をしている地主さんに何があったのでしょうか？
- ・体調を崩されて稲刈りが出来なかったのでしょうか？
- ・そういう事情であれば、ご家族やご近所の方にお手伝いして頂けなかったのでしょうか？

広い田んぼに、たくさんの痛みかけた稲穂を見て現代社会の大きな問題を垣間見たように感じました。

私は農家で生まれました。実家ではたくさんの農地を耕していました。田植えや稲刈りの忙しい時期は子供の私もお手伝いしたものです。家族が力を合わせての一大事業でした。

人手が足りない時は、ご近所さんにも応援を頼んでいました。たくさん働いてご馳走を食べて、家族もご近所さんも仲良くして、助け合って稲刈りをしたのです。でも今は農家をしていただだけでは食べていけない時代です。子供達も都会に出てサラリーマンをします。核家族になると、なかなか実家には立ち寄りません。

半年掛けて育てた稲ですが、誰にも収穫されずに立ち枯れています。お米を作る苦勞を知っているだけに、心が痛みました。ここまできたら、早く刈り取る作業だけでもしてあげて欲しいです。

い。お米を作られた方は今頃何を考えておられるのでしょうか？



年末が近づくと、大宮までお買い出しに出かける人が多く感じます。いよいよ師走。

5. 連帯保証人の役割！

今年、賃貸物件を探すお客様の中で「生活保護を受給」される方がとても多かったです。全体の割合から考えると15%はおられたでしょうか。職業から、生活保護を受けて生きていかなければならない人の人生模様を垣間見る事になります。

生活保護を受給する理由として昔から多かったのが「母子家庭」です。今は「リストラ・病氣・高齢」が多くなりました。どちらにしても賃貸契約に進むときは「連帯保証人」を付けて頂きます。

この「連帯保証人」を申込書に記入して頂く時に問題が発生します。半数の方が「連帯保証人になってくれる人が見つかりません」と言われるのです。

人は1人で生まれて来たものではありません。両親がいて兄弟がいて、叔父さん・叔母さん・従兄弟などの親戚が必ずいます。それなのに、連帯保証人になってくれる人がいないというのは、本人に大きな問題があるからです。

真面目にコツコツ生きてきたのであれば、誰かが「困っているのなら手を貸してあげるよ」と言ってくれます。生活保護費を受給出来ると決まったとき、きちんと生活すれば金銭面で人に迷惑を掛ける事はありません。この時の連帯保証人という立場は、万が一の緊急連絡先としての要素が大きいのです。

連帯保証人がいないという事は、その人が生活保護を受ける事になった理由が問題という事になります。家族を持ったのか・真面目に働いたのか・身分相応の生活をしたのか・人に迷惑を掛けなかったか・親類とお付き合いをしていたか、などの結果が年老いてから生きていく時に大きな指針となります。

家族がいても「子供には連帯保証人になって貰えない」または「親が連帯保証人をしてくれない」と言われます。逆に「なって貰いたくない」と言う人も。親子間で金銭的なトラブルも多いらしく、付き合いを絶ちたいと考える人も多いです。

そうは言われても、年を取ってから賃貸物件を探すにはいろいろな規制を受けます。身内の連帯保証人がいないと、万が一の事が起こった時にご迷惑をお掛けするのは家主様ですので、万全の体制で契約しておきたいのです。

50歳代から認知症が始まると言われています。中には若年性認知症もあるそうですが、火災や賃料の未払いなどの事故があった時に身内に連絡を取ります。

連帯保証人には出来るだけなりたくないと言うのが心情ですが、大切な人が困った時に手助けをするのが人としての行動です。自分だって困った時に助けて頂くのですから。

年末が近づいています。

「連帯保証人がいないので借りられません」とハッキリと言わなければならない私もつらいものがあります。

「お正月をどこで過ごすのだろう？」とふと頭をよぎりますが、そんな事をしていると心配にきりがありません。言える事は「今からでも親戚付き合い・友達付き合いをして、良い人間関係を作っておきましょう」です。日々のお客様を見て、声を大にして叫びたいです。



たかし君にサンタさん
の帽子とフードを着せて
みました。

6. 訳あり格別安いお部屋！

賃貸物件で「格別安い」と思われる物件があります。お客様から「広くて安いのでこれを見せて下さい」とご相談を受けましたので管理している不動産会社に案内の手配をしました。すると「この部屋ではないのですが斜め下の部屋で自殺がありましたのでご承知置き下さい」と言われたので驚きました。

不動産の売買・賃貸とも、事故があれば必ずお客様に説明しなければ、不動産会社の責任が

問われる時代です。借りられるのが女性です。これで案内を諦められると思っていたのですがお客様は「どうして自殺した事が問題なのですか？私はこの部屋が見たいのです。」と言われます。

ご説明して納得されるのなら、ご案内や契約に進んでも問題がないのですが、私はこの種の事は苦手なので出来るだけ避けるようにしています。お客様に外回りや環境を見て頂いてなるべくご案内しないですむような方向へ持っていくとしました。

そして靈感の強い人に起こったトラブルや、症状などのお話しをしました。問題を聞いた事が無かった部屋でも、何度か入居者が変わっても「霊を見た」と言っては退去者が続出し、お祓いをした事もあります。

女性のお客様は霊について何の知識も無い方でした。ご説明の結果、この部屋を見るのを諦めて、明るいおしゃれな所に住むことが決まったので本当に安心しました。

賃貸物件は豊富です。間取りや設備だけでなく、環境や管理・全体の入居者の様子を確認をする事が大事です。お客様が快適に暮らせるように、ご希望をお聞きしながら適切なアドバイスをさせていただきます。

7. 立ち退き理由を聞いて呆然！

「賃貸物件をさがしています」とお客様が来店されたのですが、お引っ越し理由をお聞きしますと「家主様からの明け渡し要求」でした。アパートを建て替えるので半年前の通知を受けたのでした。

ここ数年、家主様には出来るだけアパートを建築しないようにアドバイスしてきた私ですが、今回のお話を聞いてもっとショックを受けました。こんなに不動産の空室物件が多いというのは、家主様はまだ建築しようと思われるのですね。相続や節税など理由はいろいろとあると思います。でも建築会社さんの話を信じてしまったのですね。

建築会社の収支計算は決して正しいとは言えません。どんどん下がっていく満室割合・増え続ける修理費・計算に入っていない税金・家賃保証は時代に合わせて下がり続けます。

不動産会社も正直に説明する会社は少ないでしょう。建築会社の担当は、不動産の営業ではないですから、将来の状況を説明出来るはずがありません。

「家主様はもうアパート建築を決めてしまわれたのですね」退去通告されたお客様にお聞きしても無駄な話ですが。

今の時代、特にアパート建築の営業マンが家主様にアパート建築を持ちかけられています。空室が増えると収入も減るので、今度は建築で利益を上げようとしています。

そんな事をしたら益々悪循環になって、空室率がアップして不動産業界全体が冷えてしまいます。建築会社や管理会社が倒産しないとも限りません。大きな会社ほど苦しいです。

家主様はいずれご自分で責任を取るようになります。アパート建築をするという事は、常にリスクが伴います。

かと言って建てなければ目先の税金が払えなくなり、良い解決策が見えてきませんね。本当に困った時代です。今回の家主様が建築されるのは1LDKだそうです。単身者向き物件が余っている。借主が少ない。そこにまた過剰建築されている1LDKを建築されるのです。もう悲しくなってきました。家主さんが気の毒です。



みんなで力を合わせてマッサージ！
ありがとうネ。

8. 現代社会の縮図がここに！

不動産会社にはいろいろなお客様が来られます。物件のお問い合わせがあると、まず見たい物件をご案内します。それはお客様がすでに将来の設計を考えて、目安をつけて物件を選んでいると考えるからです。ご案内途中でいろいろとご質問します。

女性が「このマンションを見せて下さい」と言われるのでご案内の手配をしました。まだ募集を始めたばかりで内装工事も未だ出来ていませんでした。

女性はリフォームについてあれこれ注文を付けましたが、リフォームは家主様が考えられるので、基本的に借りる側が注文は出来ません。借主様はあくまでも内容を確認してから借りるかどうかを決める立場です。

案内の後で事務所にお越し頂きました。それでビックリした事があります。若い女性のお客様ですが、両肘をテーブルの上について、口にはアメを入れたまま話をするのです。しかも話し方も友達に話すような感じで、まともに応対出来ませんでした。

女性は「仕事はしていない・一人で広くて高い家賃の物件を借りようとする・家賃の支払いは父親」など、この方の考えが見えないので、まず聞く耳を持つために女性の態度に対して注意しました。

「テーブルの上に両肘をついて話しをするのは辞めて下さい」

「アメを口に入れたまま話をしては失礼です」

女性は驚いた様子で「私のお客様でしょ。なのにそんな事を言うのですか？」

「なんで不動産屋にそんな事を言われたいといけないのか」

など、いろいろと言っていました。

世の中の常識を教えました。そして身分相応の賃貸物件を探すように。この方の家庭事情をお聞きしました。恵まれていない環境で育ったようで、気の毒には感じましたが、お父さんがなくなった時にこの女性が一人で生きていく為にはもっとシッカリしなければなりません。

女性の事情から考えて、今すぐ出て行く必要もない環境なので、親子げんかをしたのでしょう。女性は雰囲気から察して、今まで一度も仕事をした事が無いのでしょう。年を取っていく父親も娘の将来を案じて言い過ぎたのでしょうか。

不動産会社にはいろいろな人がやって来られます。今の社会の縮図を見ます。親子で同居しているご家族が増えているようですが、お子さんの年齢が30代を越えて40-50代になっています。独身も多く、結婚どころか仕事をしていない、仕事を探しても見つからない方も多いです。

年老いた親を養うどころか、逆に親の年金で生活している人も多いように感じます。少し余裕のあるご両親は、お子さんが自立出来るようにアパートを探しに来ます。中には「私が家賃を払いますので」と言われるお母さんもおられます。年老いても同居しているうちは生活できますが、その両親がいなくなった時、お子さんはどうなるのでしょうか？

9. 解約理由は不動産購入!

賃貸物件の退去連絡を受けて、引越理由をお聞きしますと「不動産購入」と言われる方が多いです。ファミリータイプのアパートやマンションを借りると家賃は7万円以上支払うことになります。

新築の一戸建住宅が、完成を待たずに価格が下がっています。35年ローンを支払う計算ですと、今の家賃支払いよりも安くなります。購入可能な方は今がマイホームを持つチャンスです。

ここ最近では賃貸を探す方と同じくらい、不動産購入のご相談を受けます。考え方によって、賃貸派と購入派それぞれに分かれますが今は売買物件の価格が下がっていますので、同じ支払いでマイホームが持てて、しかも部屋が広いとなると購入する方が増えます。

当社では賃貸と売買の両方を取り扱っていますので、賃貸の方に「購入しませんか?」となかなか言い出せないところがあります。アパートに空室が出来る家主様が困られるからです。

でも賃貸の更新時に「いずれは購入を考えています」とご相談を受けます。10年賃貸の家賃を支払うのなら、そのお金で安いマンションを購入する事が出来ます。購入を考えておられるのであれば2度目の更新時期がチャンスかも知れません。お客様は地域を知り尽くし、その環境や買物・交通の便なども把握出来ています。

解約理由を「不動産購入」と書かれて、別の不動産会社で取引された時はちょっと残念です。当社でもお世話させて頂いたかっと思ひます。まだお客様とのコミュニケーションが出来ていないと反省します。アプローチが売買物件を取り扱っている事を認識されていないお客様もおられるようです。

指扇駅や駅前ロータリーからよく見えるように「売買・賃貸」の看板を付けると、購入相談のお客様が増えました。当社の広告が今まで足りなかったのですね。

解約理由の2番目に多いのが「家賃が安い物件への住み替え」です。「更新の時に家主さんに家賃交渉をしたけれど、了承して貰えなかった」というのが理由です。更新料の減額や少しの家賃値下げには言われる前に対処した方が良さそうです。



仕事が終わりの日は仲間と遠征ゴルフを楽しみます。

10. おかやま的ココロ

平成22年も今月が最後ですね。朝と夜が非常に寒くなり、近頃は朝布団から出るのがめっきり辛くなってきました。ついこの前まで残暑の厳しさがニュースになっていたのがウソみたいですね。

ニュースと言えば、最近は話題が落ち着いたものの、一時期は毎日のように大々的に報道された尖閣諸島の映像流出問題。恥ずかしながら尖閣諸島という言葉自体この事件で初めて耳にした僕ではありますが、ちょうどいい機会なので「尖閣諸島問題というのはどういった問題なのか?」を調べてみることにしました。心の中で「今さら人には聞けないんだよな〜」と思っている方がいましたら、一緒に勉強しましょう(笑)

まず、尖閣諸島が日本領に編入されたのは日清戦争中だった1895年1月14日であり、日本政府は「いずれの国にも属していないことを確認したうえで尖閣諸島を沖縄県に編入した」との見解を2008年6月に出しています。これ以後、アメリカ合衆国に占領されていた時期があるものの、これは日本の施政権が及ばなかっただけであり、主権を保持しており一貫して「領有」していたといえます。

日本政府は尖閣諸島の領有状況を1885年から1895年まで調査し、世界情勢を考慮したうえで隣国の清国など、いずれの国にも属していないことを慎重に確認したうえで閣議で決定し沖縄県に編入しました。

その後日本人が入植し、アホウドリの羽毛の採取や海鳥の剥製の製作、そして鰹節の製造などが行われ、特に鰹節の製造は島の基幹産業となり、最盛期、同島には99戸、248人もの日本人が暮らしていたそうです。

しかし南洋諸島からの安価な製品が出回るようになると経営が苦しくなり、**経節工場は閉鎖され1940年に無人島となりましたが、日本の実効支配は継続していました。**

第二次世界大戦後は一時連合国（実質的にはアメリカ合衆国）の管理下に置かれ、連合国の一員であった中華民国は1945年10月25日に台湾総督府が統治していた台湾と澎湖諸島を接收し、日本もサンフランシスコ平和条約で最終的に放棄しました。台湾は1945年以降に中華民国台湾省となりましたが、尖閣諸島は含まれていなかったということです。

尖閣諸島を行政的に管轄していた八重山支庁が機能不全に陥り、八重山自治会による自治が行われていたそうですが、12月になって11月26日に告示された「米国海軍軍政府布告第1-A号」によってアメリカ軍による軍政下に入り、その後琉球列島米国民政府および琉球政府が管轄する地域に編入されました。またアメリカ空軍が設定していた防空識別圏も尖閣諸島上空に設定されていたそうです。

この時期の中華人民共和国および中華民国で編集された地図は後述のように尖閣諸島を日本領として明記しており、**自国領という認識はないばかりか、日本領との認識があったといえそうですね。**1968年の海底調査の結果、東シナ海の大陸棚に石油資源が埋蔵されている可能性があることが指摘されて以降、中国、台湾政府とも急に領有権を主張しはじめ問題化したそうです。

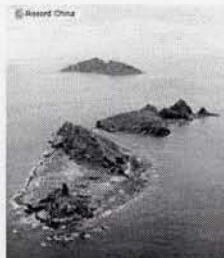
1969年および1970年に国連が行った海洋調査では、推定1,095億バレルという、**イラクの埋蔵量に匹敵する大量の石油埋蔵量の可能性が報告されたとか（すごいですね！）。**

結果、周辺海域に豊富な天然資源があることがほぼ確実であると判明すると、ただちに台湾がアメリカ合衆国のガルフ社に周辺海域の石油採掘権を与えるとともに、尖閣諸島に上陸し「青天白日旗」を掲揚した写真を撮らせ世界中の通信社に配信したため、日本政府が抗議しました。

そして1971年6月に台湾、12月に中国が相次いで領有権を主張しました。その根拠は、尖閣諸島が中国側の大陸棚に接続しているとの主張にくわえ、古文書に尖閣諸島を目印として航海に役立てていたという記述が見られることで最も古くから同諸島の存在を認識していたという解釈によるものなんだそうです。

ただし、1970年以前に用いていた地図や公文書などによれば両国とも日本領であると認識していたようで、米国の施政時代にも米国統治へ抗議したことはないため、**日本国内では中国と台湾が尖閣諸島の領有権を主張し始めた動機として海底油田の可能性が高いと唱えられています。**

大雑把に書いてきましたが、これが尖閣諸島問題の背景みたいですね。つまり中国、台湾共に資源ほしさに自国の権利を主張しだしたということでしょうか。資源と言えばレアアースをはじめとする貴重な資源に関しても色々な場面で問題が垣間見えていますね。



発展する為に意地になって資源を買いあさる国もあれば、国民に負担を強いてエコやリサイクルを全面に出して体裁だけを取り繕う国もあります。どちらも国民が豊になるとは思えません。物事の本質を見極めてほしいですね。

恥ずかしながら、国際情勢や政治の内情まで深く知識を得るまでに至らない僕ではありますが、それでもここまで政治のトップニュースがグズグズな話題ばかりだと「大丈夫か？」と心配になってしまいます。

ま、三十路を迎える僕の世代では目の前のことをやることでいっぱいいい人が多いんじゃないかと思えますんで、あまり偉そうなことを言えないのも現実ですが……。来年は明るい話題が今年より多ければいいですね。それではよいお年を。



甥っ子も男の子です。
岡山家は男子が多い家系？
この甥っ子にもサッカーを教えて
昆虫好きに育てよう！

11. ほほえみ日記

気づけばもう12月。師走です。
サンタさんは子ども達にプレゼントの聞き込み調査、インフルエンザの予防接種と相変わらずバタバタと忙しい毎日です。

この季節になると子どもが好んでひっぱりだす絵本が『あのね、サンタの国ではね・・・』(偕成社・作：嘉納純子)という、サンタの国の絵本です。



サンタクロースがプレゼントをくれるって、何才まで信じているのかしら？

サンタの国にいるサンタたちはどんな1年を過ごしているのでしょうか？

グランサンタの家に集まって、新年のご挨拶をするのは1月。

2月は、子どもたちから届いたお礼の手紙を読んでいます。

トナカイ達が、空を飛んだりそりを引く練習をする「となかい学校」の入学式は4月・・・とサンタの国の一年が描かれています。大人が読んでも想像ふくらむ楽しい絵本です。

「今は〇月だからサンタさんはこんな事してるのか～！！」と一年を通して親子で楽しめる絵本です。絵もほんわか可愛らしいのでオススメです。

話は変わり、この夏私がはまった金魚飼育。チビ金魚は愛情を一身に受けすくすく育ちましたが、病気感染し他界してしまいました。そして新たな趣味を！と思い、はまっているのがアロマです。

アロマは、お香のようにお部屋で焚くだけでなく、数滴お風呂に垂らしたりハンカチに染みこませて芳香を楽しめます。

香りを嗅ぐだけで気分が落ち着いたり元気になったり。ホルモンバランスを整えたり、免疫力が高まったりするので不思議です。

(調べてみると、香りを嗅ぐことによって香りが脳へ伝わり、自律神経系に働きかけることに

よって、リラクゼーション効果以外にも多くの効果が得られるそうです)

ラベンダー、ローズ等、馴染みのある香りも多い中、一番初心者向けで馴染みやすいのがオレンジ。気分がリフレッシュして元氣になれますよ。

この時期おすすめなのが、免疫力アップ！のティーツリーやユーカリです。これらは樹木系なので少々クセがあるように感じます。

アロマの魅力にどっぷりはまった私が、今一番欲しいのがアロマディフューザー。舌を噛みそうな名前ですが、アロマをより快適に楽しむための道具なんです。

イメージとしては小さい加湿器。水とアロマが湯気になってホワホワふきだし、部屋中にアロマの香りが漂うんです。見て癒されて、香りで癒されて・・・素敵ですね～♪

玄関開けたら大好きなローズの香りがほわ～っと・・・

今なんて、何となく男臭というか汗臭というか・・・(笑) セレブにはほど遠いっ！！

頑張っ、我が家のサンタさんをお願いしたいと思います。

これからますます寒い時期がきます。暑い暑い夏だったから、寒い寒い冬になるんでしょうか？お楽しみですよ！ それではまた☆



独身美人姉妹？ いえ二人ともママ！
家事に育児に頑張っていますよ。

アプローチの冬期特別休暇
《12月28日～1月5日》
平成23年は1月6日より営業